

# アブダビ日本人学校設立の歴史と身体活動の現状及び諸問題

— アブダビ日本人学校幼稚部及び小学部・中学部の  
現地調査及び研究授業を通して —

栗原 武志

## 要 約

本研究では、これまで研究がなされてこなかった中東地域の在外教育施設で学ぶ子どもたちの身体活動に焦点をあて、中でもアブダビ日本人学校を対象とし、その設立の歴史と併せて、アブダビ日本人学校で学ぶ子どもたちの身体活動（健康問題及び危機管理を含む）の現状と課題について研究を行った。その結果、以下の4点が明らかになった。

1. アブダビ日本人学校の子どもたちは、30℃を超える月が年間の半分もあるアブダビにおいて、猛烈な暑さの為、運動する機会も、歩く機会も少なく、持久力が低下している状況が明らかになった。
2. アブダビ日本人学校で学ぶ UAE の子どもたちは、同校舎内で学ぶ日本人の子どもと比較すると、体温が低く、全般的な活動量も少なく、調整力が未発達な子が幼少期には目立ち、年齢が上がるにつれ肥満傾向が目立っている状況が明らかになった。
3. UAE の子どもたちがラマダンを行う際、日本人の子どもは、このラマダン時の UAE の子どもたちの生活を理解し、隠れて水を飲んだり、食事をとったりしていることが明らかになった。
4. アブダビ日本人学校も他の在外教育施設同様、ソフトターゲットとしてテロリズム組織の標的とされていた。そのため、施設内の監視カメラの増設等、ハード面の整備と共に、子どもたちへの安全教育も重視され、年に5回の避難訓練実施や児童、園児向けの安全教育講和等ソフト面の充実が図られていることが明らかになった。

## 1. はじめに

現在、中東では ISIS (イスラム国) によるテロやシリア難民といった問題が世界的に大きな関心事になり (日本経済新聞、2018)<sup>1)</sup>、特にテロの脅威等ははるか中東を離れた日本においても看過できな

---

1) 過激派組織「イスラム国」(IS) が首都と称したシリア北部ラッカの陥落から17日で1年。欧州に押し寄

い問題である。その証拠に、昨年（2017年）テロの脅威から国を守る共謀罪法案が審議され国会の議論に上がったことは真新しい（日本経済新聞、2017）<sup>2)</sup>。しかしながら、このように治安維持の確立が不十分な中東においても、コスモ石油、昭和シェル石油などの石油会社を筆頭に、イエローハット、良品計画、大創産業などの日本の企業が進出し、中東でも比較的治安が良いアラブ首長国連邦（以下、UAE）には、在留邦人が4,073名滞在中<sup>3)</sup>。在留邦人の存在とともに、その地の日本人学校で学ぶ子どもたちも291名滞在中であり、今日現在この地で学んでいる。

これまで、在外教育施設で学ぶ子どもたちを対象にした研究は、文部科学省から派遣された教員による現場における指導実践記録がほとんどであった。これらの指導実践記録は世界各国の日本人学校に多く存在するが、学術的研究は少ない。池崎（2005）、小澤（2007）、栗原（2014）、越井（1988）、土肥（2012）、渡辺（2004）などの在外教育施設で学ぶ子どもを対象とした研究は一部存在するが、調査された地域が、イギリス、フランス、オランダ等のヨーロッパ圏もしくは、タイ、シンガポール、マレーシア等の東南アジア圏であった。また、研究視点も教育学、語学、家庭科教育、特別支援教育等に偏っており、体育科教育学を専門とする研究者からの視点はほとんど存在しない。

唯一、栗原（2016）が、日本人学校の歴史が古く、在籍児童も多いシンガポール日本人学校に焦点をあて、その設立の歴史と子どもたちの身体活動の現状や健康等に関わる問題について身体教育的な立場から現地調査をとおして明らかにしている。ただ、本研究も東南アジアといった地域であり、残念ながら中東の在外教育施設を扱った研究ではない。なお、指導実践記録は、平山（2002）の「アブダビ日本人学校における体育科の実践」が残されている。本記録は、平山がアブダビ日本人学校に在籍した3年間における教育活動を、主として体育科の実践という視点で振り返ったものである。担当教科として、小学部体育及び中学部保健・体育を全学年担当し、校務分掌において、体育施設経営及び管理、また、日本人会運動会を担当し、課外活動においてスポーツ教室オブザーバーを担当している点で、アブダビ日本人学校における体育活動の実際を知る上では、非常に示唆を得ることができている記録である。しかしながら、子どもたちの健康問題等には触れておらず十分とは言えない。

そこで、本研究では、これまで研究がなされてこなかった中東地域の在外教育施設に焦点をあて、

---

せた難民の発進地となった中東の混乱は、いままも収束していない。反移民のポピュリズム（大衆迎合主義）やテロなどの過激思想をまき散らす危機は残ったままだ。戦火で家を追われた人々の苦難は続く。主要拠点を失ったISは壊滅が近づいているとされるが、アサド政権と反体制派の戦闘は続く。UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）によると、7年間のシリア内戦で国外に逃れた難民は560万人にのぼる。国内避難民660万人とあわせると、内戦前の人口の半数超が家を追われた。7割が極度の貧困状態での生活を強いられている。2018年10月18日付日本経済新聞朝刊。

- 2) 犯罪を計画段階で処罰する「共謀罪」の構成要件を改め「テロ等準備罪」を新設する改正組織犯罪処罰法が21日午前公布され7月11日に施行されることが確定した。新設するテロ等準備罪の適用対象はテロリズム集団などの「組織的犯罪集団」。組織的な殺人や人身売買など277の重大犯罪が対象になる。2017年6月21日付日本経済新聞朝刊。
- 3) 2017（平成29）年詳細版海外在留邦人数調査合計によると、2017（平成29）年10月1日現在の集計で、アラブ首長国連邦は4073名の在留邦人が滞在中、前年度比+5.9%で在留者が増加している。地域別在留邦人数でも第28位であり、前後をスウェーデン4217名（27位）、グアム3891名（29位）と続く。中東での在留邦人数は、アラブ首長国連邦が一番多く、次にサウジアラビア1362名と続く。

中でもアブダビ日本人学校を対象とし、その設立の歴史と合わせて、アブダビ日本人学校で学ぶ子どもたちの身体活動（健康問題及び危機管理を含む）の現状と課題について、明らかにしていきたいと考える。イスラム教や砂漠気候といった日本とは異なる慣習、環境の中で学ぶ子どもたちの実態は、多くの新しい知見をもたらすものと考ええる。

## 2. 研究方法

本研究は、先行研究に関して文献調査を行った後、現地調査を実施し、研究授業、インタビュー調査並びに現地校における文献収集を行った。なお、インタビュー調査の実施にあたっては、次の5つの視点を事前に説明した上で、対象者の同意を取り調査を実施した。

- (1) 人権擁護への配慮
- (2) 個人の尊厳及び自由意志の尊重への配慮
- (3) 個人のプライバシーの保護
- (4) 研究内容および手順の適切性及び合理性への配慮
- (5) 研究実施による不利益及び危険性に対する配慮

以下、調査日程及びスケジュールである。

2017（平成29）年3月7日（火）～12日（日） アラブ首長国連邦 アブダビへ渡東

3月9日（木）12:30～13:00 アブダビ日本人学校幼稚部視察

13:00～15:00 アブダビ日本人学校小学部授業視察

15:00～17:00 学校管理責任者（校長、教頭）及び体育関係教員（小学1年生～中学3年生体育授業担当）に対するインタビュー調査

3月10日（金）調査予備日

## 3. アブダビ日本人学校の所在と歴史

### 1). アブダビ日本人学校の現状と運営

アブダビ日本人学校（JAPANESE SCHOOL OF ABUDHABI）は、アブダビ日本人会の日本人学校設立の声に押され、1978（昭和53）年4月15日に開校した。2017（平成29）年4月現在、アブダビ日本人学校は在アラブ首長国連邦日本国大使館附属の学校であり、その運営はアブダビ日本人学校運営理事会が運営主体となり、合同石油開発会社（UPD）の坂上文明氏が運営責任者である（図1）。日本人学校の実務的な運営は学校長である梶山明彦氏及び教頭の吉田光宏氏により行われており、在籍教職員数は、現地採用者を含めて29名である。2013年にバティーン地区に校舎が移転した後、現在同敷地内に、幼稚部、小学部、中学部が混在し、アブダビ日本人学校として所在している。運営主体



出所：アブダビ日本人学校『学校要覧』2016年、12ページより作成

図1

であるアブダビ日本人学校運営理事会の構成員にUPD(合同石油開発株式会社)やJODCO(ジャパン石油開発会社)、ADOC(アブダビ石油会社)、コスモ石油、昭和シェル株式会社など、石油関連企業やそれを取り扱う商社が名を連ねているところに、本校の特徴と設置された地域の特徴を顕著に示していると考えられる。

アブダビ日本人学校学校要覧(2016a)(以下、学校要覧)によると、2016(平成28)年5月1日現在の在籍児童・生徒数、園児数は図2のとおりであり、およそ78名の子どもたちが学んでいる。そのうち児童、生徒数は42名であり、この数字は、最も在籍者が多かった1983(昭和58)年の110名を100とすると、現在の在籍者数は、約38.2%程度まで下がっている。一方、1978(昭和53)年の開校から2016(平成28)年までの平均在籍者数で表すと、39年間で2121名の在籍者があり、単年度平均54.4名であるので、現在の在籍者数は、単年度平均数と比較すると77.8%にとどまり、現在の在籍者数は通常よりもやや少ない在籍者数と言えるであろう(図3)。

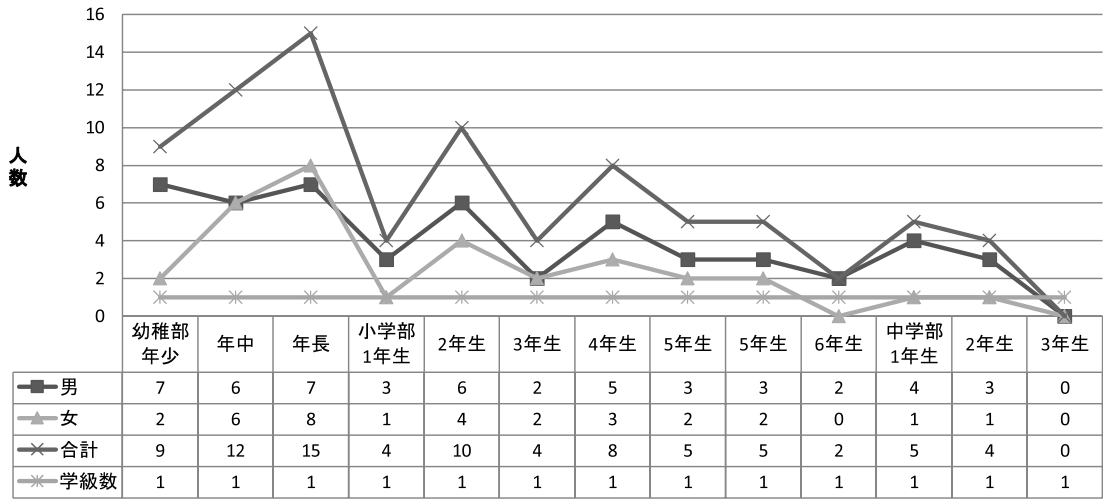


図 2. 在籍園児、児童、生徒数

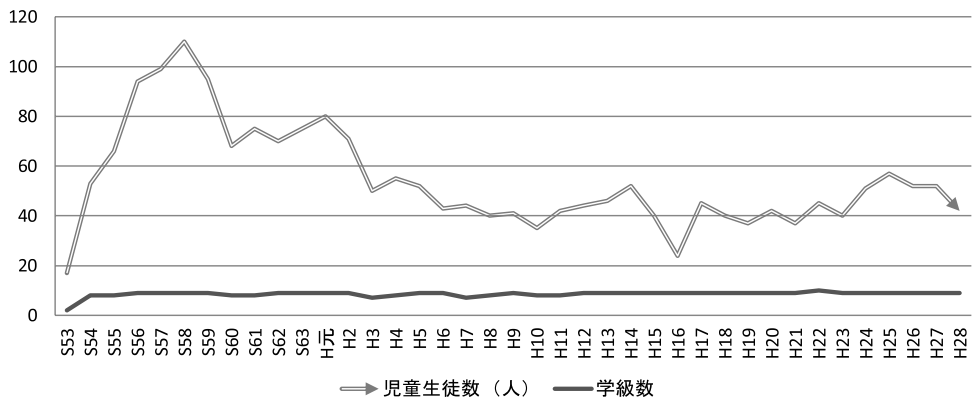


図 3. 在籍児童・生徒数の推移

## 2). アブダビ日本人学校の設置目的と学校経営

アブダビ日本人学校は、1976（昭和 51）年アブダビ日本人会で日本人学校設立の声が高まり、設置の検討を始めたことに端を発する（学校要覧 b, 2016）。設置目的は、「アブダビに於いて、日本の教育原理と方法に基づく初等、中等、幼稚園教育を日本の文部科学省の定める学習指導要領に則って、日本語による教育を行うこと」である。当時の子どもたちは、自宅で勉強したり、アメリカンスクールに通ったりしており、日本語で授業を受けることができる日本人学校の設立は非常に嬉しいものであった（アブダビ日本人学校 a, 2016）。

2016（平成 28）年度現在、学級数は全 8 学級児童生徒数 42 名で、表 1 に示すように、組織運営に

携わる所属教職員は、文部科学省派遣教員9名（含む校長・教頭）、NPO派遣教員4名、ファミリーサポートスタッフ1名、現地採用教員1名（アラビア語・対外折衝）、現地採用時間講師1名、現地採用事務職員1名、現地採用看護師1名、用務員1名、警備員2名、アブダビ教育評議会（ADEC）<sup>4)</sup>派遣教員5名の総勢26名であり（学校要覧c, 2016）、これらのスタッフの下に学校経営が行われて、以下に4つの教育目標を掲げている。

表1. 所属教職員一覧

職名	氏名	担任等	主な分掌、教科
校長	梶山 明彦		経営、社会
教頭	吉田 光弘	中学部3年	経営、庶務、国語
教諭	佐藤 太基	小学部1年	学習指導、図工美術
教諭	上山 香織	小学部2年	特別指導、音楽、生活、算数数学
教諭	梶山 高秀	小学部3年	学習指導、社会
教諭	佐々木知成	小学部4年	教務、理科
教諭	上村 裕一	小学部5・6年	生活安全指導、保健体育
教諭	辰口 憲治	中学部1年	生活安全指導、国際理解・現地理解、英語
教諭	筧 勝吉	中学部2年	特別活動指導、道徳、家庭
教諭	片岡 祐子	UAE 児童生徒担当	UAE 児童生徒担当日本語指導
教諭	小池 瑞穂	UAE 児童生徒担当	UAE 児童生徒担当日本語指導
教諭	橋永 かおり	UAE 児童生徒担当	UAE 児童生徒担当日本語指導
教諭	木村 雄一	UAE 児童生徒担当	UAE 児童生徒担当日本語指導
ファミリーサポート スタッフ	山田 朋希	UAE 児童生徒保護者担当	UAE 児童生徒保護者担当 通訳、翻訳
講師	フラグ・バラカート	アラビア語・渉外	アラビア語・渉外
講師	スーザン・シニア	英会話	英会話
教諭	フェリーダ	UAE 国民児童生徒担当	アラビア語、イスラム教、ソーシャルスタディ
教諭	マイサ	UAE 国民児童生徒担当	アラビア語、イスラム教
教諭	アーミナ	UAE 国民児童生徒担当	ソーシャルスタディ
教諭	スハイラ	UAE 国民児童生徒担当	アラビア語、イスラム教
教諭	モハメド	UAE 国民児童生徒担当	アラビア語
教諭	アフマド	UAE 国民児童生徒担当	イスラム教
事務	後藤直子		警備員
警備員	リラ		
警備員	ライ		健康診断
看護師	ソジャ		
用務	ジャンガ		
ドライバー	ジャーファル		
ドライバー	モハメド		

出所：アブダビ日本人学校『学校要覧』2016年、13ページより作成

4) 文部科学省に相当。

- (1) 学ぼうとする子どもに育てる
- (2) 思いやりをもって行動する子どもに育てる
- (3) 健康にすごせる子どもに育てる
- (4) 国際感覚を生かせる子どもに育てる

「学校要覧 d, 2016」

これらの教育目標を下に、アブダビ日本人学校の使命として「日本人としてのアイデンティティを大切にしながら、国際感覚や人権感覚に優れ、高い知性や教養を身につけ、将来国際社会に貢献できる人材となるための基本を身につける」（学校要覧 d, 2016）と、目指す学校像を示し、具体的に次の2点を掲げている。1つは、安心・安全で、心おだやかになる教育環境を確保し、保護者や日本人社会等からも信頼される学校。1つは、主体的に学び、自らを律し、粘り強く努力するとともに、思いやりがあり心豊かな児童生徒の育成を目指す学校である（学校要覧 d, 2016）。

### 3). アブダビ日本人学校の歴史

#### ① I 期（開校～新校舎移転）

アブダビ日本人学校の歴史を紐解くと、以下のⅢ期に分けることができる。まず、I 期は1978（昭和53）年4月のアブダビ日本人学校開校から1980（昭和55）年10月までの新校舎に移転する迄の時期である。

開校に先立ち1976（昭和51）年、アブダビ日本人会において日本人学校設立の声が高まり、日本人会で設立に向けた検討が始まった。1978（昭和53）年1月、日本政府によりアブダビ日本人学校設立認可が許可され、3月にアブダビ日本人学校運営理事会が発足した。4月には、文部省より派遣教員2名が着任し、初代校長甲斐正人氏で、2学級編成13名で4月15日に開校式を迎えている。アブダビ日本人学校（2016b）によると、最初の校舎は、現地のビラを借りたものであり、エアポートロードに沿って、4キロメートルほど南へ行った住宅街の一角にあったとしている。また、日本人学校設立以前の子どもたちは、自宅で勉強したり、アメリカンスクールに通ったりしており、日本人学校ができたことは、日本語で授業を受けることができるようになったことを意味し、非常に喜ばしいことであった。子どもたちは当時の様子を、「学校は民家をかりた小さなものでしたが、それぞれの教室には、ひとつずつ、クーラーがついていて、40度をこえてもすごしやすかったです（小学部3年男子）」「教室は全部で10教室あって、学校の横の空き地が広くて、どんな遊びもできました。ボール投げやかけっこなどで遊びました。とても楽しかったです（小学部3年男子）」「いろいろな楽器、ステレオ、スライド、道具もたくさんそろってました（小学部2年女子）」「図書館もプレハブで作られ、船便も着いたので、体育や音楽の道具がいろいろそろい、楽しい学校になりました（小学部2年女子）」「ぼくたちの学校は、はじめ木がぜんぜんなくてさびしかったので、計画をたててアブダビの政府から木をもらいました。このみどりを大切に育てて、さばくの中にみどりの学校をつくろうと思いました（小学部5年男子）」と、作文の中で書いている。また、『暗がりから目をさまし、活気をおびはじ

めた朝のハムダンストリートに一台の白いバスが走ってきました。・・・中略・・・今、ここにスクールバスを目のあたりにして、目頭のあつくなるのをおぼえると同時に、日本人学校の躍動する力を垣間みるおもいがしました(PTA 広報「みなれっと」第4号より抜粋)と、記述されているように開校初期の頃からスクールバスも走っていた様子が明らかになる。

この初期の2年間は図3在籍児童・生徒数の推移にも見てきたように、在校生数が開校時より3倍、4倍と急激に増えた時期でもあり、1978(昭和53)年6月には学級数が3学級(19名)に編制替えされ、同年9月には4学級(33名)に編制替えされている。合わせて、現地採用の教員を1名ずつ6月、9月に採用している。また、開校年には福田赳夫総理大臣が学校を視察している。1979(昭和54)年4月には、派遣教員6名、現地採用教員2名が着任し、8学級編成(53名)としている。翌1980(昭和55)年4月には、派遣教員1名、現地採用教員2名を採用し、計11名で、8学級編成(66名)の学校運営を行っている(学校要覧b, 2016)。

## ② II期(新校舎移転後～2005年)

アブダビ日本人学校史のII期は、1980(昭和55)年11月に新校舎に移転し、2006(平成18)年に日本人学校・幼稚園にUAEの子どもを受け入れる制度が始まるまでの時期である。

アブダビ日本人学校(2016c)によると、「開校してから2年間で児童・生徒数は3倍以上に増え、ビラを借りた校舎では狭くて都合の悪いことが多くあったので、日本人会の方々が相談して校舎を建てることになり、1980年にアルムルール地区に引っ越しました。校舎には、特別教室、体育館、プール、運動場があり、日本の学校と同じように整備された」と記されており、在校生増による収容人数の問題により、新校舎に移転したことが明らかになる。新校舎移転の落成式は、1981(昭和56)年3月に行われ、同年4月には第2代校長の安西信雄氏を迎え、現地採用教員2名を含む11名で9学級編成(94名)で学校運営がなされている。また、新校舎移転に伴いプールが整備されたため、同年6月にはプールを開く式が開催され、授業内容に水泳が組み込まれた。この成果は、翌年1982(昭和57)年6月の日仏学校交流親善水泳大会や同年11月の4ヵ国交流親善水泳大会、1984(昭和59)年5ヵ国親善水泳大会など、他国の児童との交流活動にもつながっていったようである。さらに、1982(昭和57)年2月には初めての修学旅行も計画され、小学部はアラブ首長国連邦国内、中学部はエジプト・アラブ共和国の首都であるカイロに旅しており、開校以来役10年、学校行事が充実してきた様子が明らかになる。

1982(昭和57)年から1983(昭和58)年にかけては、在校生数も非常に増加し、1983(昭和58)年6月頃には、児童・生徒数合わせて開校以来最も多い119名を記録している。その後、児童・生徒数は減少傾向を示し、1990(平成2)年には71名、翌1991(平成3)年には50名に落ち込み、そこから今日まで55名～24名の範囲で推移することになる。児童数等が減少した背景としては、1990(平成2)年8月頃から始まったペルシャ湾岸危機として歴史に残るイラクによるクウェート侵攻、翌1991(平成3)年1月湾岸戦争勃発等が大きく影響していると考えられる。また、この間1990(平成2)年8月15日から11月4日の期間には、学校閉鎖の措置も取られている。

なお、このII期に渡る期間は、1987(昭和62)年12月インディアンスクール主催の陸上競技大会



参加や1993（平成5）年12月から2008（平成20）年までほぼ毎年続くアブダビの現地校であるアルワールド校との交流授業であったり、2005（平成17）年12月から始まる現地校のアルクバイラ校との交流授業であったりと、アブダビ現地の小・中学校と交流が活発になった時期でもある。後述するが、現在では現地校との交流は見られなかった。

### ③ Ⅲ期（2006年～現在）

2006（平成18）年、日本人学校・幼稚園にUAEの子どもたちを受け入れる制度が始まり、日本人学校では、2009（平成21）年から日本人とUAE人が一緒に学ぶようになった（アブダビ日本人学校c, 2016）。一緒に学ぶ制度が開始され8年の月日が経ち、UAEの子どもたちは現在14歳、日本人学校の中学2年生になった。現地に日本人学校高等部は存在しないので、日本国内の高等学校への進路が模索されている。

2006（平成18）年以降今日までおよそ10年、新たな行事も試みられた。2008（平成20）年には初めての運動会が開催された。その後、2011（平成23）年に集団かぜによる学校閉鎖で中止になったこともあったが、例年1月に日本人会を主として運動会が開催されている。また、2007（平成19）年には、小学部低学年を対象とした砂漠遠足や中学年以上を対象とした砂漠キャンプなども取り入れられ、遠足並びに集団宿泊の行事等も、地域の特色を取り入れて例年11月に開催されている。

現在の校舎は、2013（平成25）年にバラティーン地区で運用が始まり、「前の校舎より広く、講堂や日本文化センターなどの施設が増え、プールこそないが、2016年には人工芝の運動場ができ、外でサッカーなどのボール遊びができたたり、鉄棒や砂場が設置」（アブダビ日本人学校d, 2016）されている。なお、これらの施設を使い、日本人会のボランティアによりスポーツ教室が開催され、曜日毎に異なるスポーツ種目が行われている。

## 4. アブダビ日本人学校の現状と課題

### 1) アブダビ日本人学校の教育目標と現状

アブダビ日本人学校の教育目標に関しては、第3章第2節アブダビ日本人学校の設置目的と学校経営で述べたとおりであり、その目標達成の為に以下の3つの中期的な重点目標を掲げて、学校経営がなされている。

- 1 児童生徒の心の成長をうながすため、人権感覚あふれる学校づくりを推進するとともに、児童生徒の基本的な生活習慣の確立や、自主的な活動・所属感や存在感を味わえる活動を奨励・支援するための取組を推進します。
- 2 児童生徒（UAE児童生徒も含む）の進路実現を図るため、教育活動全体を通じて組織的に児童生徒の学習意欲を高め、学習習慣を確立するための取組を実現させるとともに、学習指導や進路指導における教員の指導力向上を図る取組を推進します。

- 3 より活力のある学校組織を構築するため、学校運営理事会等との連絡をさらに密にし、教育環境の整備を図りつつ、教員の資質向上や校務運営の改善に継続的に取り組みます。

(学校要覧 e, 2016)

これらの背景として、現状、アブダビ日本人学校の課題をいくつかあげている。学校要覧 (2016) によると、

- 1 安全管理の徹底、施設設備の充実などをさらに図る必要性
- 2 人と共感する心や互いに認め合う気持ち、相手の立場になって考えることなど、人権意識を育む取組をいっそう推進する必要性
- 3 児童生徒の学力向上のため、教員の授業力向上を図り、常に児童生徒の立場に立った、よりわかりやすく質の高い授業を目指して、授業を改善していく必要性
- 4 所属感や存在感、満足感等を味わえる、実り豊かな学校生活をさらに充実させていく必要性
- 5 受け入れている UAE 児童への指導の充実を図るとともに、将来の進路保障等についてははっきりとした見通しを持つ必要性
- 6 成果のある児童生徒への指導となるよう、学校の組織力をさらに向上させること

(学校要覧 d, 2016)

としている。

特に安全管理の徹底については、2015 年頃 ISIL によって殺害された日本人の事件時<sup>5)</sup>より、在外の日本人及び日本の施設はソフトターゲットとしてテロリズム組織の標的とされ、日本の外務省及びアブダビ日本大使館より施設設備の充実及び安全管理の徹底を図るよう通達されている。インタビュー調査 (Y 教頭先生) によると、「これにより、施設内の監視カメラの増設 (倍増) とより厳重な有刺鉄線の増設が行われた。また、スクールバス駐車場の塀を高くする対策等も取り入れられた。」加えて、顔写真入りの保護者カードの導入や訪問者チェック体制の強化、門扉の改修などセキュリティ向上も図られている (学校要覧 e, 2016)。施設等ハード面のみならず、子どもたちへの安全教育も重視され、年に 5 回避難訓練も実施されている。そのうち 1 回は、在アラブ首長国連邦日本国大使館と連携し、大使館の職員より児童、園児向けの安全教育講話が実施されている。これにより、普段から子どもたち自身に安全面の意識づけが行われているようである。もちろん、安全管理の徹底の為、エリア毎にバス通学が行われている点も重要な点である。

また、人権意識を育む取組に関しては、インタビュー調査 (Y 教頭先生) によると、「現地校に通っている地元 UAE の子どもたちは、道徳的意識が弱く公共物等の破壊等を行い、また公共の場でのマナーもあまり良くない」「現地校のスクールバスの車内では、子どもたちが運転中席を立って自由に歩き回ったり、椅子や備品等を蹴ったりして壊しているようである。現地校のスクールバスの運転手から、日本人学校のスクールバスの運転手になった人からみると、バスの運転の苦悩は雲泥の差があ

5) IS (イスラム国) によりフリージャーナリスト後藤健二さん殺害。朝日新聞 2015 年 2 月 1 日付。

る」ということであった。これは UAE の子どもたち、もしくは教育が抱える大きな課題であるようだ。このような道徳的観点からも、2009（平成 21）年から日本人と UAE 人が一緒に学ぶことで、UAE の教育の底上げを図りたいという UAE 側の意図が見てとれる。

こうした点からも日本人学校では、人権を尊重する教育を進めるために、各教科・領域等全教育活動において人権意識を高めることや、学期に 1 回、学級での人間関係についてのアンケート実施、また、同一敷地内に幼小中がある利点を生かして交流を図ることにより、思いやりの心の育成に努めているようである。また、具体的取り組みとして、日頃から「朝夕の挨拶、名前を呼ぶ際呼び捨てにせず『さん』づけ等の励行、児童生徒への積極的な声かけ」「集会活動、宿泊的行事と道徳領域の充実を図り、『人の話を聞く、時間を守る、礼法を身につける』」といった点が重視されている。

## 5. アブダビ日本人学校における体育的活動と健康問題

### 1) アブダビの気温と体育的活動の実際

2017（平成 29）年 10 月から 2018（平成 30）年 9 月までのアブダビの月平均気温（図 4）を見ると、7 月が 37.1℃と最も高く、最も低い 1 月が 19.2℃である。この 19.2℃は、2018（平成 30）年度内の東京の気温と比較すると、図 5 のとおり 5 月（19.8℃）の気温に匹敵する。また、東京においては、7 月の 28.3℃が月平均気温の最高値であり、7 月（28.3℃）、8 月（28.1℃）を除くと、月平均気温は、6 月（22.4℃）9 月（22.9℃）と 20℃前半の気温に落ち着く。一方アブダビに関しては、7 月（37.1℃）の月平均気温を皮切りに、5 月（33.1℃）、6 月（35.5℃）、8 月（36.0℃）、9 月（35.3℃）、10 月（30.8℃）と月平均気温が 30℃を超える月が 6 カ月あり、20℃前後の月は、12 月（21.1℃）1 月（19.2℃）、2 月（21.9℃）のみで、他の月も 20℃をはるかに超えている。これだけでも、アブダビという地域が非常に高温で暑い地域であることが分かる。これに加えて、月平均気温最高気温を見ていくと、3 月より気温 30℃を超えており、11 月までの 8 カ月間 30℃を超える日があることが分かる。5 月に入ると 40℃を超える日も珍しくない。そして、日により 40℃を超える状態は、9 月まで続き、4 カ月間、いわば年間の 3 分の 1 は、体温よりもはるかに高い気温が屋外では計測されている。

このように 30℃を超える平均気温が年間の半分、そして 40℃をはるかに超える気温になっている日も年間 4 カ月あるアブダビにおいて、アブダビ日本人学校の子どもの身体的活動の実際は、「5 月を過ぎると暑すぎて、普段は遊ぶことができない。日本と同じようにアブダビにも公園が存在するが、やはりこの時期から屋外は暑すぎて遊べない。子どもたちは、自宅では、読書やテレビゲームをして過ごしている（U 先生）。」日本人学校内での子どもの身体活動に関しても、「体育の授業に関しては、外気温が低く、暑さを感じない時は、屋外の人口芝生の多目的広場で行い、暑い時は体育館で活動せざるを得ない状況である（U 先生）。」「現実的などころでは、アブダビのこの気候（暑さ）に対処した年間計画を作成している状況である（K 校長先生・U 先生）。」また、「水泳の授業に関しては、プール施設がないので、日本人学校近隣のアブダビの現地校のプールをお借りし、6 日間の集中で行っている状況である（K 校長先生・U 先生）。」

アブダビ国際空港 アラブ首長国連邦

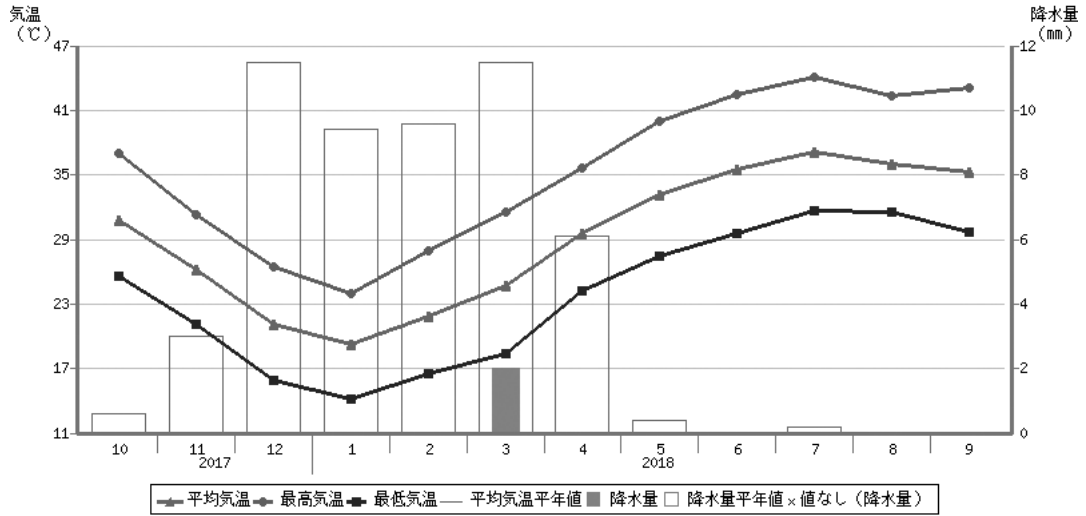


図 4. アブダビの気温

東京(トウキョウ) 日本

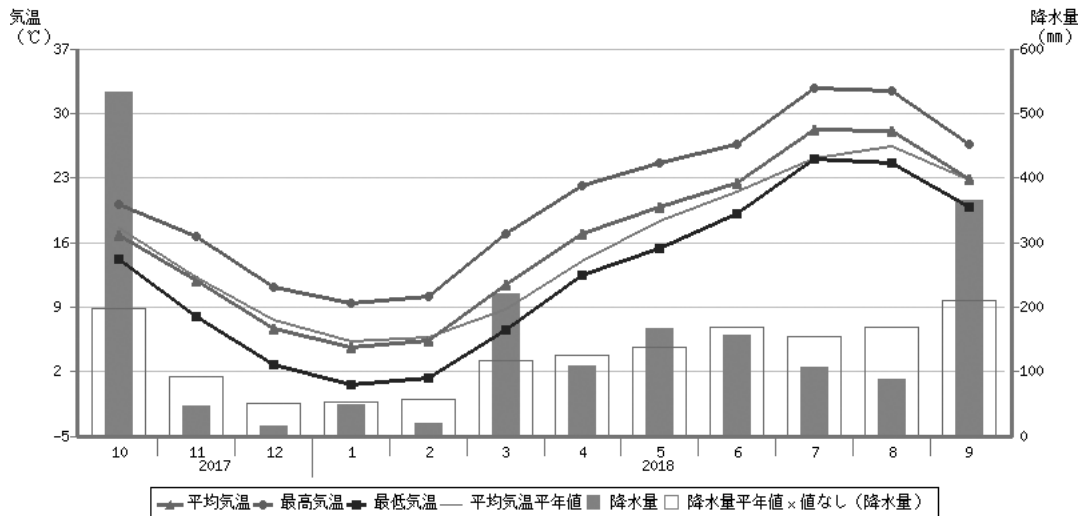


図 5. 東京の気温

アブダビ特有の気候(猛烈な暑さ)と日本人学校の体育的施設の不十分さから、先生方が苦心されている様子が伺える。

## 2) 子どもたちが抱える健康問題・体力問題

日により気温 40℃を超える状態が年間 3 分の 1 もあり、体温をはるかに超える屋外、子どもたちの健康状況や体力の現状はいかなるものか、先生方へのインタビューから明らかにしていく。

「6月に運動能力テストを行っている。日本の子どもも UAE の子どもも持久力の項目が悪い。特に UAE の子どもに至っては、シャトルランの項目が 1 ケタ台の測定結果である。日本人の子どももそこまで高いという値ではない。これらの要因は、環境的な暑さも含んだ上で、運動する機会の少なさにあると思われる。また、歩く機会が少ないとも言えるだろう (U 先生)。」高温の気温の中、運動する機会も少なく、歩く機会も少ないので、必然的に持久力が低下している状況が、運動能力テストにも表れている様子が明らかになる。歩く機会の少なさは、UAE の子どもにとって、専属ドライバーが付き、どこに行くにも車での送迎がなされるということも一因であるとのことであった。また、これらの延長線上に、「年齢が上がるにつれ、肥満傾向が目立ってきており、特にその傾向は中学生に見られる (K 先生)」ということであった。

暑さもさることながら、環境問題が引き起こす子どもへの健康問題も見られる。「大気汚染の問題で、気管支関係の病気が多く見られる。子どもたちだけではなく、教職員についてもその傾向があり、私自身も最近調子が悪い (U 先生)」「日本では、PM2.5 の問題が取り上げられるが、アブダビでも、それは PM10 の問題として起きている。PM2.5 と PM10 の違いは、粒子の大きさの違いである (K 校長先生)。」と話されるように、猛烈な暑さに加えて、PM10 の大気汚染の問題もあり、屋外にて活動するという事は、適していないようである。

しかしながら、泳力に関しては、日本の子どもたちよりも高いようである。プール施設がないので、現地校にプールを借用しているものの、「1回2時間の授業を6日間。日本の子どもたちよりも、1回の時間で泳げる時間が1時間強あるので、泳力はあるような気がする。日本だと、45分授業のうち、前後10分は着替えて、正味20分程度しか泳げないので、そこに泳力の差が見られるのではないだろうか (K 校長先生)。」

また併せて、授業時にサーキットトレーニング等を取り入れたり、休み時間は、遊ぶように呼びかけをし、ドッジボールやサッカーをしたりなど、体力向上を図る取組が行われていた。

## 3) UAE の子どもと日本人学校の子どもの健康、体力比較

K 先生によると、「中学生になるにつれ肥満傾向が目立つようになる」ということであったが、中学部では、UAE の子どもたちに小学部では見られなかった歴然たる差があり、明らかに肥満であることが明らかになるようである。その要因として挙げられるのが、ジャンクフードが多く、タンパク質が摂取できていない、という食と栄養の問題である。

アブダビ日本人学校小学部、中学部を視察するにあたって、幼稚部も合わせて視察している。その際に幼稚部に勤務されている先生によると、「3、4、5歳の各1クラス編成であり、各クラスに4名の UAE の子どもたちが入り、日本人の子どもと一緒に生活をしている。この保育の仕組みは、国策

であり、2007（平成19）年福田首相在任時に UAE の皇太子より、日本人の幼児と UAE の幼児の混合保育の依頼があった。この子どもたちは、将来日本の大学への進学を目指し、最終的には UAE の政府等の要職に就き活躍する予定である。」ということで、日本人の子どもだけの幼児教育だけではなく、UAE の子どもも同一クラスに交えた混合保育がなされている状況である。

よって、日本人の幼稚園児と UAE の幼稚園児との比較も可能になってくるが、「UAE の子どもは平熱が 35℃ と体温が低く、全般的に活動量が少ないと感じている。そのためか調整力が未発達である。これらはその子どものご家族やひいては UAE に問題があるのではないかと考えている。本学に通う UAE の子どもたちは、メイドさんがいて一切切切をしてくれる。よって、保護者の方は子育てに無頓着である。例えば、昼食時のお弁当もポテトチップスなどのジャンクフードやファーストフードなどであり、これが毎日のように続く。子どもたちのお弁当も 3 歳時からジャンクフード（幼稚部 Y 先生）」ということである。保護者も子どもも全てをメイドさんに任せきりで、メイドさん自身も食事や栄養に関する情報が乏しい様子が明らかになってくる。この 3 者の関係の根底には、「保護者が、月に 200 万円程の収入があり、それでもってメイドさんを雇い一切切切を任せる。メイドさんは解雇されると困るので、結局当たり障りのないことしか子どもに言わず、よって何もしない。加えて、真面目に働く人は少ない（幼稚部 Y 先生）」という背景が見られるようである。同様に、「日本人学校の日本人の子どもたちは、スクールバスで通学するが、UAE の子どもたちは、専属ドライバーがいるので、それで通学をしている。また、中には専属のメイドさんがいる子どもたちも存在する。ご両親はメイドさんに任せきりで、メイドさんは子どもに悪く言われたりすると解雇されるので、子どもには要件だけ伝え教育的なことはしていない（Y 教頭先生）」とのことである。

「小学 1 年生から 4 年生の体育の授業を担当しているが、持久力、忍耐力がなく、すぐあきらめる（U 先生）」「小学 5 年生から中学生全学年の保健体育の授業を担当しているが体力はもちろんだが、気持ち的にあきらめる子も多いので、スモールステップで教育を行っている（K 先生）」

幼少期より上記のような生活環境で過ごしてきている子どもたち、この国特有の暑さからの影響だけでなく、この国が抱えている様々な問題から、子どもたちの健康問題、体力問題が引き起こされていることが明らかになってくる。「将来日本の大学への進学を目指し、最終的には UAE の政府等の要職に就き活躍する予定」であるならば、この機会にぜひとも子どもたちを取り巻く健康問題、教育問題についても学びを深め、自国に戻り教育の部分からより良い生活環境の普及に努めて欲しいものと考えられる。

#### 4) 砂漠遠足と体育的效果

猛烈な暑さと大気汚染により外遊びの機会が奪われ、全身持久力等が低い子どもたちではあるが、健康面やスポーツの楽しさに触れている場面もいくつか出会う。例えば、日本人会が開催しているスポーツ教室である。U 先生によると、「サッカーや卓球、バスケットボールといったスポーツ種目が、各種目、年に 12 回ずつ行われている。剣道については、週に 3~4 回開催されている」ということで

あった。また、日本人学校の近くに外資系の営利団体が行っているスポーツ教室もあり、週1回のペースでサッカー教室に通っている子どもたちもいるようだ。

アブダビ日本人学校では、小学部、中学部も、幼稚部と同様、日本人の子どもたちとUAEの子どもたちが混合で学んでいる。そこでは、UAEの子どもも日本語を理解し、日本語により授業が展開され、日本人学校内にての交流が行われている。少し視野を広げて、日本人学校とアブダビの現地の子どもたちが通う現地校との交流は、と尋ねたが、残念ながら文化的交流もスポーツ活動を通じた交流も存在しないようである。しかしながら、ドバイにあるドバイ日本人学校との交流は行われているようで、「サッカー、バスケットボールといったスポーツ種目を低学年、中学年、高学年に分かれて対戦している。交流戦に向けた練習は、体育の授業時間に行うのではなく、放課後に行っている（U先生）」ということであった。

教育課程外に目を向けると、やや不便さこそ感じるかもしれないが、上記のように日本国内と同様の子どもたちを取り巻くスポーツ環境が提供されているとあって良いだろう。一方教育課程内に目を向けると、アブダビならではの特色ある体育的活動を見ることができる。それは、砂漠遠足・砂漠キャンプである。

「砂漠キャンプは、この国ならではの行事です。自分たちでテントをはり、食事を作り、降るような星空の下でキャンプファイヤーを行います。自然の美しさや厳しさを体験できます」（アブダビ日本人学校 e, 2016）

「小学1年生、2年生は砂漠への遠足で、砂漠で楽しく遊ぶのが主たる目的です。砂漠という日常では経験できない、非常に不安定な場所の中を歩くので、それなりの身体的・体育的効果は見られると思う（U先生）」、「小学3年生、4年生から中学生を含めた上位学年では、砂漠キャンプを行っている。毎年11月中に行っているが、この時期日中の気温は40℃あり、その中でテント設営を含め活動をしていく。活動の中には、砂丘を草スキーのようにして滑り降り、そしてまた、砂丘の上に登って行って繰り返す遊びもある。昨年のキャンプでは、テント設営に時間がかかりすぎて遊ぶ時間が少なかったため、次回以降は遊びを主として計画していきたい（KT先生）」ということである。40℃を超える気温の中で、そして不安定な場所での活動であるので、全身持久力や調整力といった運動能力は養成されると考えられる。身体的・体育的効果と併せて、「子どもたちは、普段できない運動遊び経験なので楽しんで活動している（U先生・KT先生）」という事が、非常に有益で特色ある活動として挙げられるのではないかと考える。

## 5) ラマダンとUAEの子どもたちの体育活動

アブダビに住んでいる多くの方は、イスラム教徒でムスリムと呼ばれる。一日に5回、サウジアラビアのメッカに向かってお祈りをする慣習があり、お祈りの時刻になると街中にコーランが流れ、近くのモスクに出向きお祈りを行う。モスクに行けない時には、事務所や工事現場でも、お祈りしている様子を見ることができる。夜明け前の静まり返った町中に「アッラー アクバル、アッラー アク

バル」(神は偉大なり)と礼拝への呼びかけからアブダビの一日は始まる。

イスラム教では、イスラムの暦(ヒジュラ暦)で第9番目の月をラマダンと呼び、この1ヶ月間は、日の出から日の沈むまで、食べ物や飲み物、水でさえも、一切口に入れてはいけないことになっている。この断食の意味するところは、「1. コーランの教えに素直に従うことを訓練する。2. 食べすぎたり、飲みすぎたりしないように鍛え、健康な体を保つ。3. 全世界には、十分な食事ができなくて、困っている人々がいることを考える。4. ムスリムが一つのことを共にやっているという気持ちを育てる。」(アブダビ日本人学校 f, 2016)である。よって、この時期のアブダビの人の生活は、いつもと違ったリズムになる。「朝、暗いうちに起きて食事をし、日中は何も食べずに過ごします。太陽が沈んだ後、お祈り(マグレブ)をしてから、断食あけの食事(イフタール)をします。この食事が、ムスリムにとって一日の始まりと考えられています。食事の後で、モスクへ出かけて夜のお祈り(イシャー)をします」(アブダビ日本人学校 g, 2016)。これに併せて、働く時間も変わり、「午前の時間を短くし、午後は夕食後7時、8時頃から10時、11時頃まで働きます。レストランやファーストフードの店は、昼の間は閉められています」(アブダビ日本人学校 g, 2016)。イスラム教徒ではない日本人も、公衆の場所での飲食は控えている。

日本人とUAE児の混合クラスである日本人学校内においても、ラマダン月の慣習は配慮が求められている事項である。「UAE児は立派なUAE児としてみなされるために、小学3、4年生からラマダンを行わないといけない。低学年児でも、水を飲まないなど、慣習を実践している子も存在する。ラマダン時は、体力的にきついという事もあるし、楽しいことをしてはいけないということもあるので、体育への授業参加については、UAE児本人たちの意思に任せているところである。基本的には参加しないが、中にはする子もいる。一方、日本人の子どもには、このラマダン時のUAE児の生活について理解してもらい、隠れて水を飲んだり、食事をとってもらったりするように教育を行っている(U先生)」ということであった。

## 6. 結語

本研究では、これまで研究がなされてこなかった中東地域の在外教育施設で学ぶ子どもたちの身体活動に焦点をあて、中でもアブダビ日本人学校を対象とし、その設立の歴史と併せて、アブダビ日本人学校で学ぶ子どもたちの身体活動(健康問題及び危機管理を含む)の現状と課題について、研究を行ってきた。以下、次のことを明らかにできた。

1. 30℃を超える平均気温が年間の半分、40℃をはるかに超える気温になる日も年間4カ月あるアブダビにおいて、アブダビ日本人学校の子どもたちは、この猛烈な暑さの為、運動する機会も少なく、歩く機会も少ないので、必然的に持久力が低下している状況が明らかになった。
2. アブダビ日本人学校で学ぶUAEの子どもたちは、日本人の子どもと比較すると、幼少期には、体温が低く、全般的に活動量が少なく、調整力が未発達な子が目立つ。また、年齢が上がるにつれ肥満傾向が目立ってくる。その原因は、保護者の子育てへの無頓着さであり、全ては、メイド



さん任せの生活環境にあることが明らかになった。

3. ラマダン月には、UAE 児は立派な UAE 児としてみなされるために、小学3, 4年生からラマダンを行わないといけない。その際、日本人の子どもには、このラマダン時の UAE 児の生活について理解し、隠れて水を飲んだり、食事をとったりしていることが明らかになった。
4. アブダビ日本人学校もソフトターゲットとしてテロリズム組織の標的とされていた。そのため、施設内の監視カメラの増設等、ハード面の整備と共に、子どもたちへの安全教育も重視され、年に5回の避難訓練実施や児童、園児向けの安全教育講和等ソフト面の充実も図られていることが明らかになった。

今後、運動能力テストの実際の測定数値等の資料に分析を加え、本研究を発展させ、日本とは異なる慣習、環境の中で学ぶ子どもたちの実態をより詳細に明らかにしていくことができると考える。

#### 引用文献

- アブダビ日本人学校 (2016a) すばらしきアブダビ. pp. 62
- アブダビ日本人学校 (2016b) すばらしきアブダビ. pp. 61
- アブダビ日本人学校 (2016c) すばらしきアブダビ. pp. 64
- アブダビ日本人学校 (2016d) すばらしきアブダビ. pp. 65
- アブダビ日本人学校 (2016e) すばらしきアブダビ. pp. 67
- アブダビ日本人学校 (2016f) すばらしきアブダビ. pp. 28
- アブダビ日本人学校 (2016g) すばらしきアブダビ. pp. 27
- アラブ首長国連邦アブダビ日本人学校学校要覧 (2016a) pp. 4
- アラブ首長国連邦アブダビ日本人学校学校要覧 (2016b) pp. 7
- アラブ首長国連邦アブダビ日本人学校学校要覧 (2016c) pp. 13
- アラブ首長国連邦アブダビ日本人学校学校要覧 (2016d) pp. 15
- アラブ首長国連邦アブダビ日本人学校学校要覧 (2016e) pp. 16
- 土肥豊 (2012) シンガポールの日本人学校の現状と課題. 大阪総合保育大学紀要, 6: 195-217.
- 外務省 (2017) 海外在留邦人数調査統計平成 30 年詳細版. 外務省領事局政策課. pp. 30.
- 平山和良 (2002) アブダビ日本人学校における体育科の実践. 東京学芸大学在外教育施設における指導実践記録, 25: 6-9.
- 池崎喜美恵 (2005) 日本人学校の児童・生徒の家庭科観—ロンドンおよびパリ日本学校の事例をもとにして—. 日本家庭科教育学会大会・例会・セミナー研究発表要旨集, 48.
- 越井郁郎 (1988) シンガポール日本人学校について. 大阪府立大学人間科学論集, 20: 25-41.
- 栗原浪絵 (2014) オランダの小学校における英語教育の特徴とその意味—フリースランド州における多言語教育—. 目白大学人文学研究, 10: 291-300.
- 栗原武志 (2016) シンガポール日本学校設立の歴史と身体活動の現状及び諸問題—小学部クレメンティ校の現地調査を通して—. 熊本学園大学社会福祉研究所, 44: 49-74.
- 日本経済新聞社 (2017) 「共謀罪」法を公布、7月11日施行—夏にも国際条約締結—. 6月21日朝刊.
- 日本経済新聞社 (2018) 移民はいま 混乱の中東(上) シリア難民、過激化の危機—内向く世界、行き場失う—. 10月18日朝刊.
- 小澤至賢 (2007) クアラルンプール日本人学校、シンガポール日本人学校チャング校及び中学部、バンコク日本人学校における特別支援教育の実情と教育相談支援. 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所世界の特殊教育, 21: 51-55.
- 渡辺松一・福田正恒 (2004) アジア日本学校視察訪問報告. お茶の水女子大学研究紀要, 33: 53-60.

巻末資料

## アブダビ日本人学校（幼稚部及び小学部、中等部）訪問時のインタビュー内容

日時：2017（平成29）年3月9日（木）

12：30～13：00 アブダビ日本人学校幼稚部視察（インタビュー調査含む）

13：00～15：00 アブダビ日本人学校小学部授業視察

15：00～17：00 学校管理責任者（校長、教頭）及び体育関係教員（小学1年生～中学3年生  
体育授業担当）に対するインタビュー調査

場所：アブダビ日本人学校

### 1. 子どもたちのアブダビ特有の生活の仕方

Q、アブダビ日本人学校に通う子どもたちの特徴的な生活環境や生活習慣があればお聞かせください。

A、（Y教頭先生） 子どもたちは、スクールバスで通学しています。UAEのお子さんは専属ドライバーがいるので、それで通学します。また、中には専属のメイドさんがいるお子さんもいます。ご両親は全てをメイドさんに任せきりで、メイドさんは子どもに悪く言われたり思われたりすると、クビになるので、用件だけ伝え特に教育的なことは何もしていないようです。UAEでは、子どもたちの暴力的な場面が目立ちます。例えば、地元（現地校）のスクールバスの運転手は大変です。なぜなら、運転中子どもたちが席を立ったり、物を壊したりするからです。そこから考えると、日本人学校のバスの運転手は楽なはずです。

A、（K先生） 研究授業を視察してもらいましたが、途中で帰える子どもが今日は2人いました。一人は体調不良でしたが、もう一人は、たぶん明日から連休に入るので、子どもを連れてどこかに遊びに行かれるのでしょうか。専属のドライバーさんがお迎えでしたね。

A、（U先生） 5月を過ぎると暑すぎて、日常遊べない環境です。公園も日本同様ありますが同じ状況です。子どもたちは、学校から帰ったら読者やテレビゲームをしています。

### 2. 子どもたちが抱える健康問題や体力問題等

Q、アブダビ日本人学校の子どものたちに見られる健康面の課題や体力・運動能力面での課題があればお聞かせください。

A、（U先生） 6月に運動能力テストを行いました。両国とも持久力が悪い状況です。特にUAE児に至っては、シャトルランの測定値が1ケタです。日本も、そこまで高くありません。非常に測定値が低い状況です。この要因は、この地域の暑さのため運動する機会が少ないといったことや、専属ドライバーがいる子どもたちがほとんどなので歩く機会が少ないからだと思います。また、大気汚染の問題で、気管支関係の病気が多い気がします。私も最近少し調子が悪い感じです。

A、（K校長先生） UAEでは、日本で言われるPM2.5の問題は、PM10の問題として生じていま

す。数字の違いは粒子の大きさです。

**A, (K先生)** 年齢が高くなると肥満傾向が見られます。中学生に特に顕著に見られます。普段の食生活を見てみると、ジャンクフードが多く、タンパク質が摂取できていない状況が見られます。体力ももちろんだが、心理的にあきらめる子も多いので、スモールステップで教育を行っています。

**A, (U先生)** 小学部1年生から4年生の体育を担当しているが、持久力、忍耐力がなく、すぐあきらめる子どもが多いです。

**A, (幼稚園Y先生)** UAEの子どもは平熱が35℃と低体温で、活動量が少ない傾向にあります。調整力が未発達です。日本の幼稚園で10年間働いた後、本校に勤務していますが、強くそう感じます。これらは、家族やUAEこの国自体に問題があるのではないかと考えています。子どもたちの健康課題の一因として、メイドさんがいて一切切をしてくれる生活環境を上げることができます。親御さんは子育てに無頓着で、お弁当も、ポテトチップスなどのジャンクフードやファーストフードなど、同じ物ばかりです。現状、3歳時からジャンクフードです。親御さんは、月に200万程の収入があるので、メイドさんを雇い、メイドさんはクビにされると嫌なので、結局当たり障りのないことしか子どもに言わず、結局何もしない状況です。よって、真面目に働く人は少ないです。

### 3. 子どもたちの日々の運動遊びやスポーツ及び日本人学校での特徴的な体育活動等

**Q, アブダビ日本人学校の子どもたちが普段行っている運動遊びやスポーツ等、また、体育の授業等で取り組まれている特徴的な身体活動があればお聞かせください。**

**A, (U先生)** 日本人会がやっているスポーツ教室があります。年に12回、サッカー、卓球、バスケットボールが開催されています。剣道については、週3～4回行われているようです。また、学校の近くに外資の営利団体がやっているスポーツ教室があり、週1のサッカー教室に通っているお子さんもいます。普段は、ドッジボールやサッカーなどをしており、休み時間は、遊ぶように呼びかけをしています。暑くない時は屋外で、暑いときは体育館で活動しているような状況です。

**A, (K校長先生, U先生)** サーキットを授業の中に取り入れて体力向上を図っています。水泳については、プールがないので近くの現地校をお借りし、6日間の集中で行っています。2時間×6日。日本の子どもたちよりも、1回の時間で泳げる時間が1時間強あるので、アブダビ日本人学校の子どもたちの方が、泳力があるかと思います。日本であれば、45分のうち前後10分は着替えて正味20分程度しか泳ぐ時間がないので、その差は大きいかと思います。

**A, (K先生, U先生)** 非常に暑い地域なので、この地域の環境や気候に合わせて年間計画を作成しています。

**A, (U先生)** 現地校との体育的交流活動等はありませんが、ドバイにあるドバイ日本人学校との交流はあり、サッカー、バスケを、低、中、高学年に分かれて対戦しています。体育の時間に練習するのではなく、放課後に、大会に向けて練習しています。

**A, (KT先生)** 子どもたちの身体活動を見ていると、UAE の子どもたちはサッカー等で個人技が多いのが見てとれます。パス等の概念が少ないです。これは、普段サッカーのテレビ中継を見て、その影響を多大に受けているのではないかと思います。個人技は上手です。

**A, (K先生, U先生)** 中学部でも部活動等があるわけではないので、学校ではなるべくいろんな種目を経験してもらい楽しさを提供したいと考えています。

**A, (K先生, U先生)** UAE の子どもたちを指導するにあたって体育活動で困ることは、特にはありません。日本語理解力もあり指導に問題はない状況です。

**A, (U先生)** 特徴的な体育的行事の中に、砂漠遠足、砂漠キャンプがあります。不安定な砂の上を長時間歩くという遠足ですので、全身持久力や調整力は向上すると思います。小学部の1, 2年生は、砂漠遠足で、主たる目的は、砂漠で楽しく遊ぶことです。

**A, (K②先生)** 小学部の3, 4年生以上は、砂漠キャンプを行っています。11月中に実施していますが、それでも気温は40℃あります。キャンプ設営から始めて、砂漠で遊ぶことを目的にしています。子どもたちは、普段できない経験なので楽しんでやっています。

#### 4. イスラム教の習慣と身体活動

**Q, イスラム教におけるラマダン等の習慣と身体活動について、お聞かせください。**

**A, (U先生)** UAE の子どもたちは、立派な UAE 児としてみなされるために、小学3, 4年生からラマダン(断食)をしないといけません。低学年でも水を飲まない子もいます。ラマダン時には、体力的にきついということと、楽しいことをしてはいけないということで、UAE 児本人たちに、体育の授業への参加有無は任せています。基本参加しませんが、体育の授業に参加したいという子もいて、参加している子もいます。一方、日本人の子どもたちには、ラマダンの習慣について理解してもらい、隠れて水を飲んだり、食事をとってもらったりするように教育を行っています。

#### 5. 安全教育及び安全(危機)管理

**Q, アブダビ日本人学校におけるテロ対策等の安全(危機)管理及び子どもたちへの安全教育、安全管理等についてお聞かせください。**

**A, (Y教頭先生)** 2年前のISIS(イスラム国)による後藤健二さん殺害事件以来、テロの対象として、アブダビ日本人学校はソフトターゲットになっているので、スクールバスの発着場の塀を高くしたり、カメラの数を倍増したりしました。また、有刺鉄線も張りました。

**A, (K校長先生)** アブダビ日本人学校の周辺は、皇太子の執務室があるので、日本で例えると永田町みたいな場所です。テロ等に関しては、秘密警察やエキサラート(電話会社)等がかなり深く入っており、盗聴はもちろん、いろいろと調べているようです。危機管理としては、事前に外部者チェックをしています。学校内部に入るには、外部者として事前に届け出がないといけないようになっています。アブダビ評議会から、子どもたちが物を壊すので、監視カメラを入れて欲しいという依頼がきました。これについては、テロとは関係ありませんが、道徳等に力を入れて

いる日本を見習いたいという UAE の動きもあります。

**A, (U先生)** テロ等、安全（危機）管理等の為に、子どもたちになされる安全教育や体育的行事等として避難訓練を年に5回実施しています。そのうち1回は、大使館と連携し、併せて幼稚園も一緒に行っています。その際、大使館の方からも講和をしてもらっています。また、バスでエリア毎に登下校するのも安全管理の視点からです。

## 6. その他

**Q, アブダビ日本人学校における特徴的な教育等についてお聞かせください。**

**A, (幼稚部Y先生)** 幼稚部は、3、4、5歳の1クラス編成であり、各クラス4名 UAE の子どもが入っています。これは UAE の国策であり、UAE の皇太子より 2007 年時に福田首相に依頼が行われました。この子どもたちは、将来日本の大学への進学を目指し、最終的には UAE の政府等で活躍する予定です。

**A, (Y教頭先生)** 日本人の子どもたちは、日本に帰国する予定なので日本語の習得と家庭によっては英会話を習得するべく勉強をしています。UAE の子どもたちは、母語の教育ができておらず、話すことはできていても書くことができません。英語中心になっている状況が見えます。また、UAE の現地校では、教育の質が低く、連休明けに1日通常日があつてまた連休に入ると、先生が通常日も休めば良いと言っているようです。これまで寺子屋形式で、教師教育がなされてこなかったから、教育の質が悪いのではないかと考えます。昨今、UAE が教師の質を求め始め、それを日本人学校にも要求してきており、日本人も基準を満たすために、評議会の面接を受けたり、教員としてのライセンスを提出したりするようになっています。

